

Unify NXJ Release 10.5 (Windows) インストールの補足

[ライセンスキーの取得について]

Unify NXJ のインストールを行う前にシリアル番号とライセンスキーが必要となります。
ライセンスキーは、

URL <http://www.unify.com/nxj/license> へアクセスして取得する事が出来ます。

この URL にアクセスするために必要な、Customer Code と Serial Number(シリアル番号)は、製品に同封されております製品ドキュメントに記載されています。

[Standard Edition ライセンスと Professional, Advanced Edition ライセンス]

Unify NXJ には、NXJ 製品のコンポーネントの他にもJBoss アプリケーションサーバがバンドルされています。Standard Edition ライセンスでは、Unify NXJ インストール時にJBoss アプリケーションサーバがインストールされます。

Standard Edition 以外では、このリリースのUnify NXJ でサポートされている任意のアプリケーションサーバが選択できます。他のアプリケーションサーバを選択した場合、JBoss アプリケーションサーバはインストールされません。

[インストールの手順]

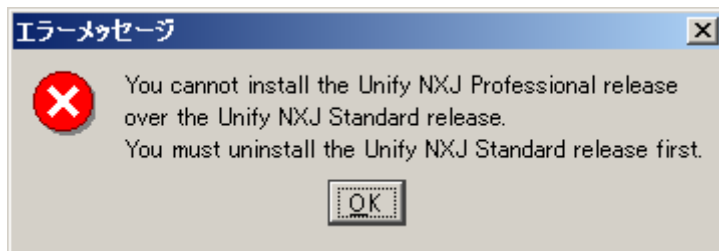
CD-ROM を CD ドライブに挿入するとインストールウィザードが起動されます。

インストールウィザードが起動されない場合は、CD-ROM フォルダに移動して、setup.exe を起動します。

インストールウィザードに従って Unify NXJ をインストールします。

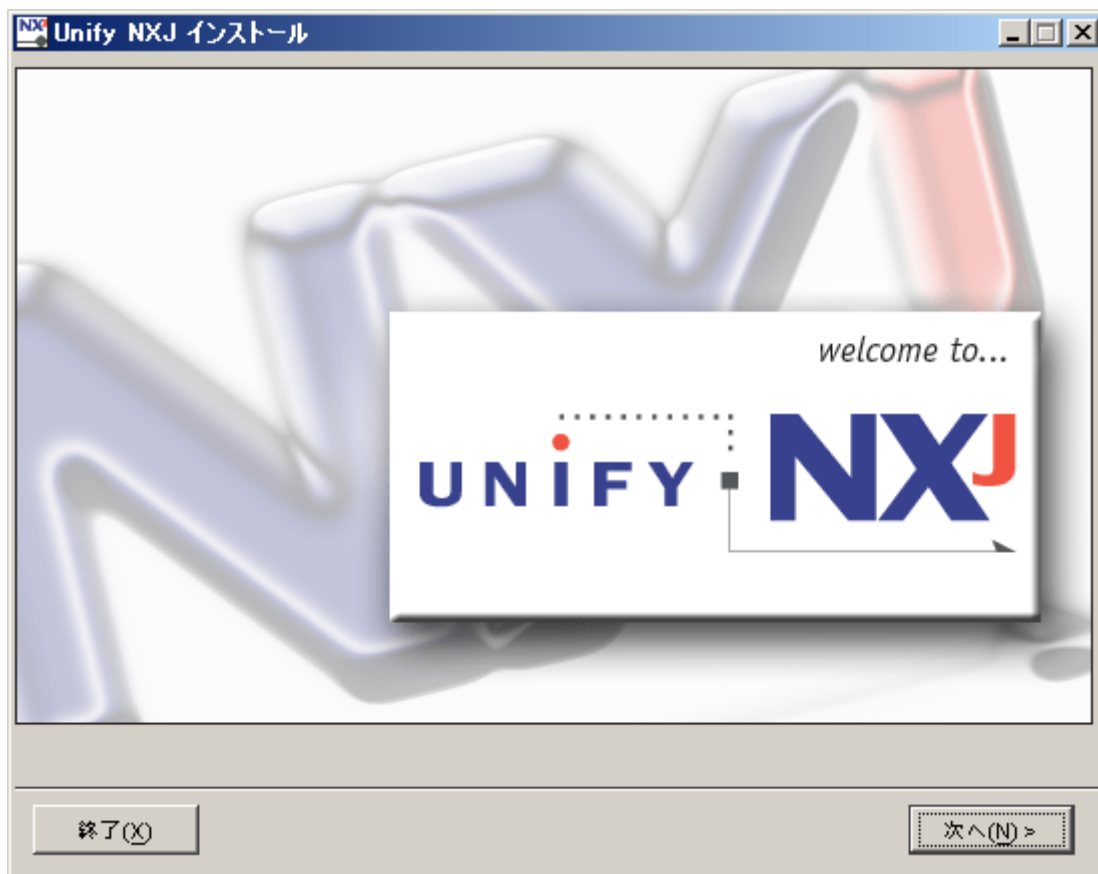
このインストーラでは標準のセットアップとカスタムのセットアップのタイプでインストールが可能です。

起動時、以前のリリースがインストールされている場合、以下のようなダイアログが表示された時は、そのメッセージに従います。



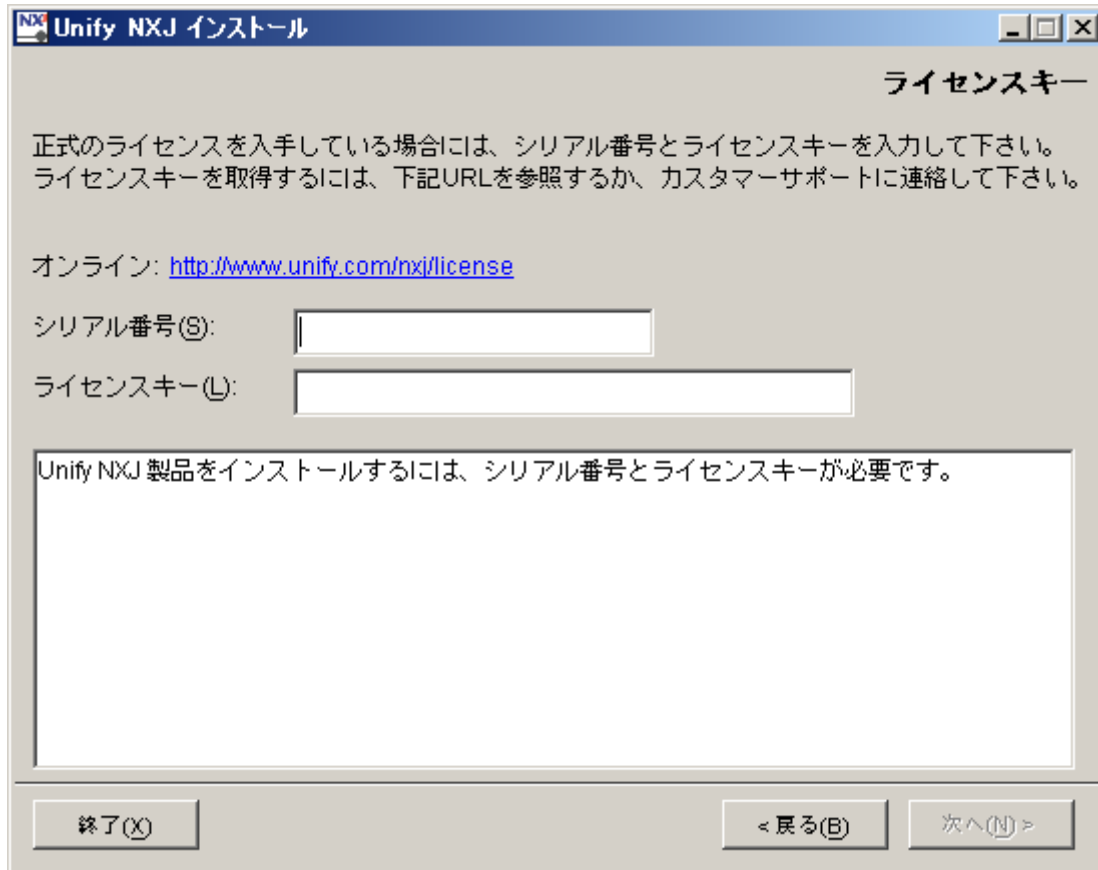
Windows のコントロールパネルのプログラムの追加と削除(アプリケーションの追加と削除) を使って以前のリリースをアンインストールした後、setup.exe を再度実行します。

デフォルトインストールオプションでインストールを行う場合は、[標準]セットアップを選択し、各インストールオプションの値を変更してインストールを行いたい場合は、[カスタム]セットアップでインストールを行います。



Unify NXJ のインストールが開始されます。
[次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

1. 共通インストールステップ



The screenshot shows a dialog box titled "Unify NXJ インストール" (Unify NXJ Install) with a sub-header "ライセンスキー" (License Key). The main text reads: "正式のライセンスを入手している場合には、シリアル番号とライセンスキーを入力して下さい。ライセンスキーを取得するには、下記URLを参照するか、カスタマーサポートに連絡して下さい。" (If you have obtained a formal license, please enter the serial number and license key. To obtain the license key, please refer to the URL below or contact customer support.) Below this is an online link: "オンライン: <http://www.unify.com/nxj/license>". There are two input fields: "シリアル番号(S):" (Serial Number) and "ライセンスキー(L):" (License Key). A message box at the bottom states: "Unify NXJ 製品をインストールするには、シリアル番号とライセンスキーが必要です。" (To install the Unify NXJ product, you need a serial number and a license key.) At the bottom of the dialog are three buttons: "終了(X)" (Exit), "< 戻る(B)" (Back), and "次へ(N) >" (Next).

インストールのために、ライセンス情報を入力する必要があります。

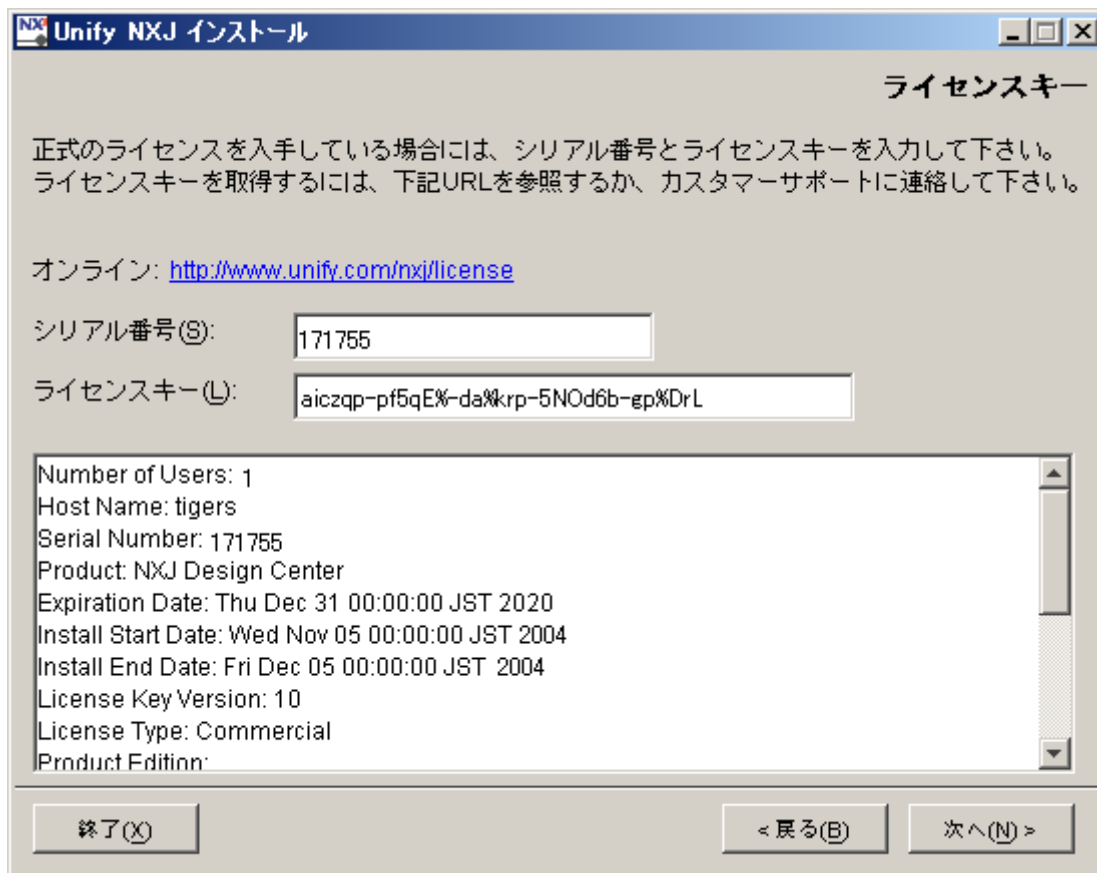
以下のライセンス情報を入力して下さい。

シリアル番号 : 171755 (入力例)

(実際の NXJ のシリアル番号)

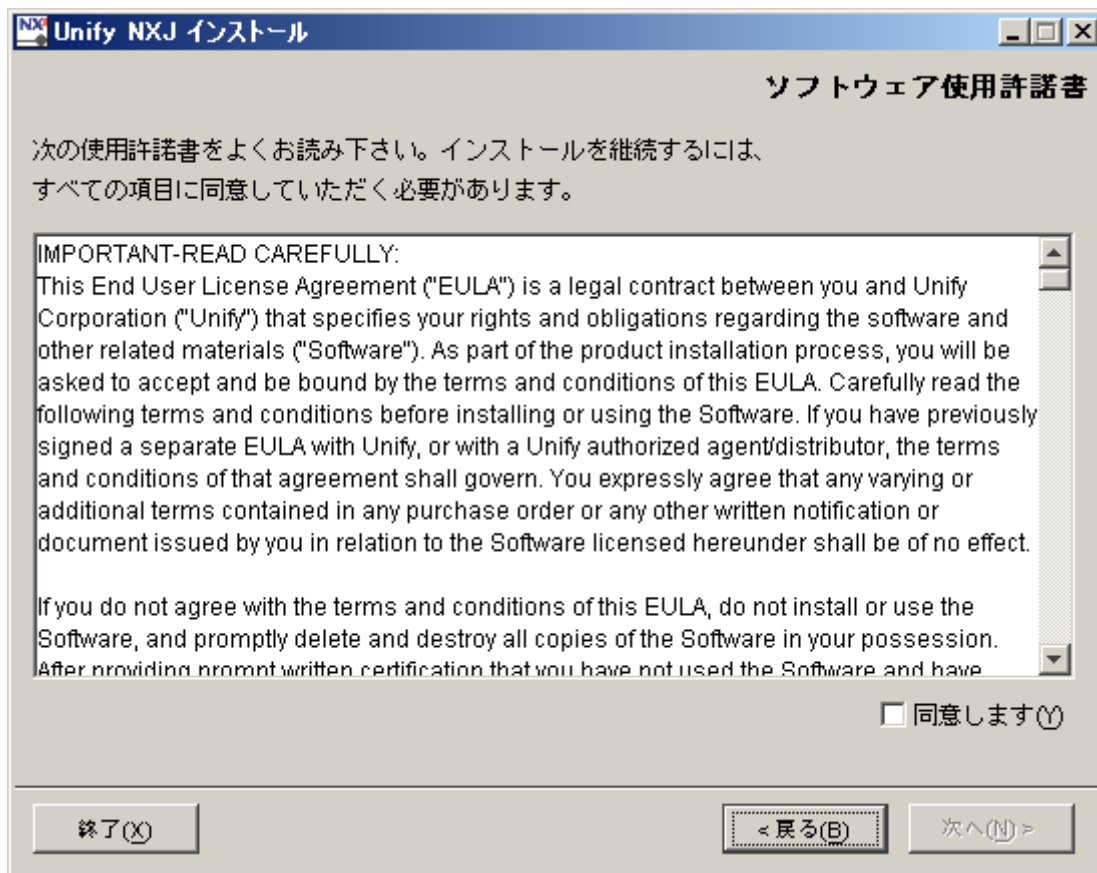
ライセンスキー: aiczqp-pf5qE%-da%krp-5NOd6b-gp%DrL (入力例)

(実際に取得したライセンスキー)



シリアル番号とライセンスキーを入力すると、商品のライセンスに関する情報が表示されます。

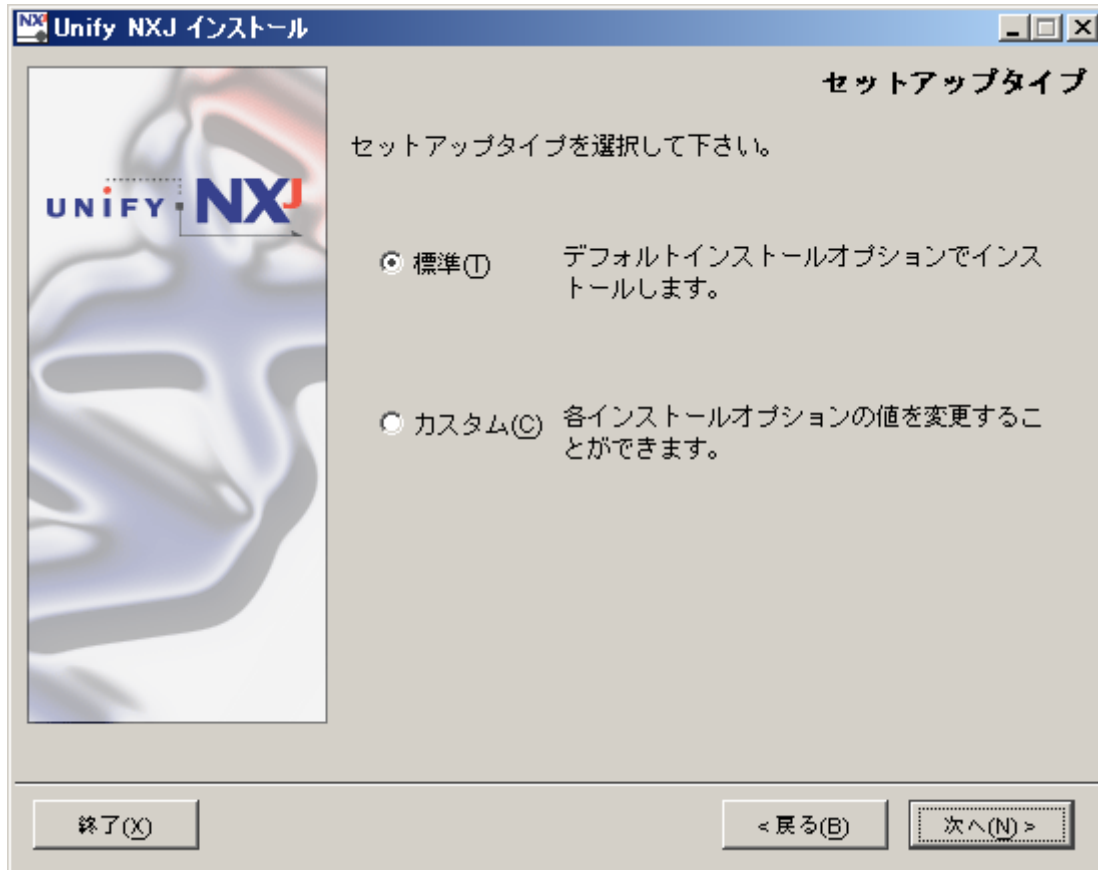
表示された情報が正しいものであれば [次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。



使用許諾書が表示されますので、内容をご確認し[同意します] をチェックしてください。

[次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

2. [標準]セットアップのインストールステップ



標準のセットアップとカスタムのセットアップタイプでインストールが可能です。
デフォルトインストールオプションでインストールを行う場合は、[標準]をチェックして
[次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

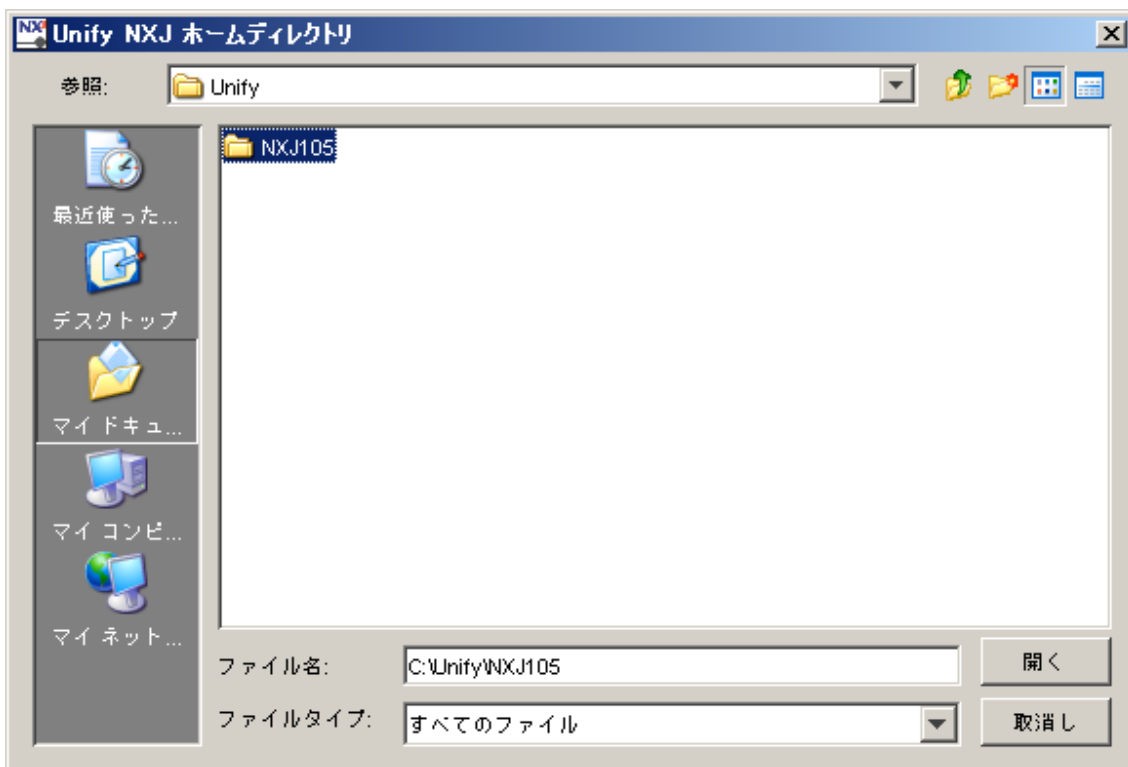
各インストールオプションの値を変更してインストールを行いたい場合は、カスタムのセ
ットアップでインストールを行います。カスタムのセットアップの手順については、[13 ペ
ージ\[カスタム\]セットアップのインストールステップ](#)を参照して下さい。



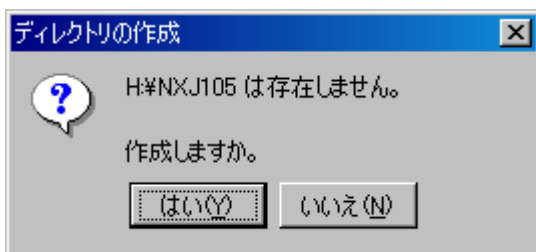
Unify NXJ のインストール先のフォルダを指定します。

デフォルトのインストール先のままでよければ、 [次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

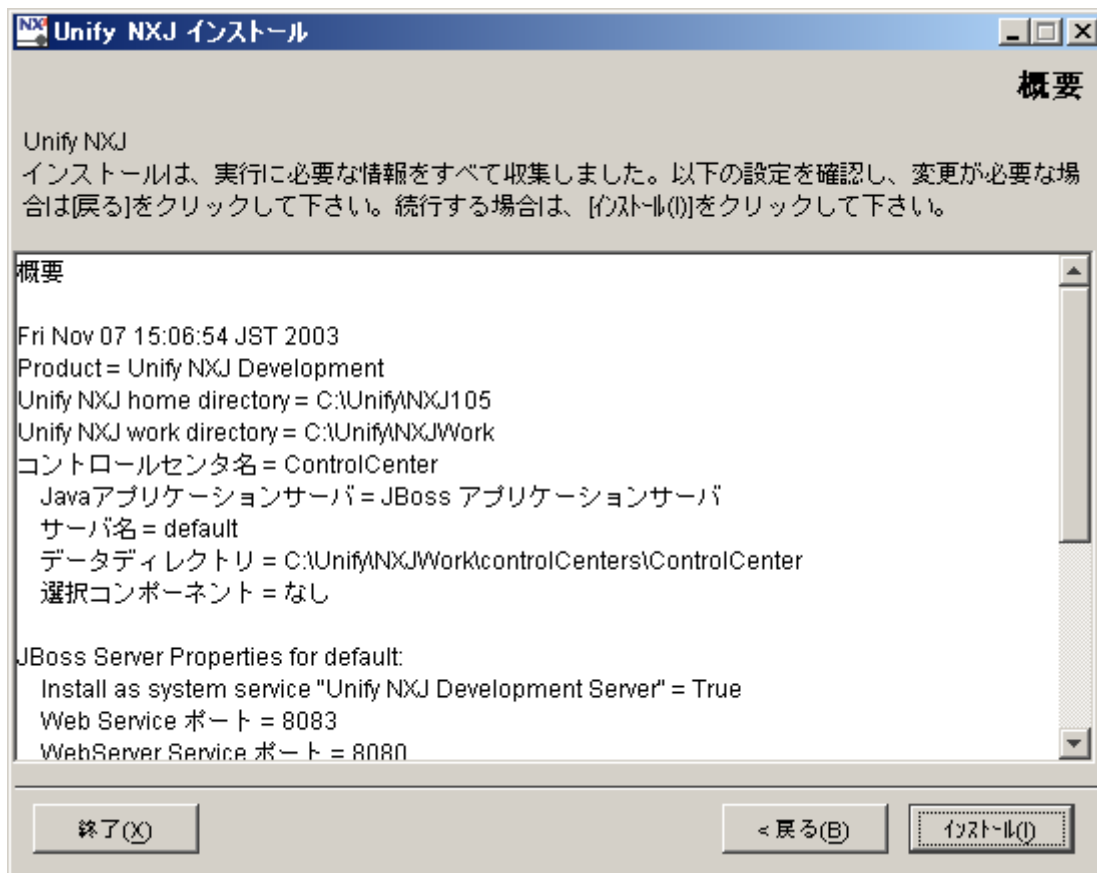
デフォルトのインストール先以外にインストールしたい場合は、フォルダを直接入力するか、 [参照(R)] ボタンをクリックすると、インストール先を指定するダイアログが表示されますので、そこでインストール先のフォルダを指定してください。



インストール先である NXJ ホームディレクトリを指定または、作成してください。



指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラにより作成されます。
[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。



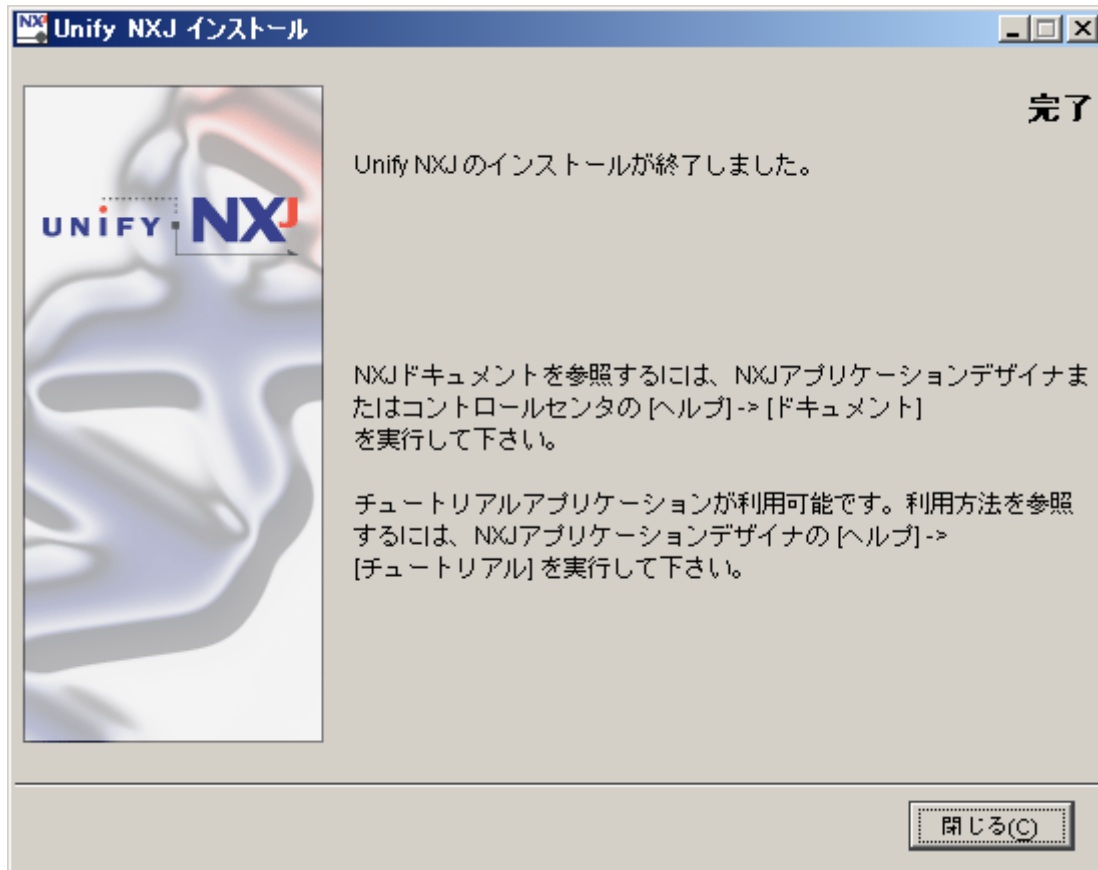
インストールのための情報が表示されますので、間違いがなければ [インストール(I)] ボタンをクリックしてください。

間違いがある場合は、[< 戻る(B)] ボタンをクリックすると、一画面ずつ戻りますので、必要な箇所での情報を訂正してください。

インストールを実行しないで終了する場合は、[終了(X)] ボタンをクリックします。



インストールが実行されます。

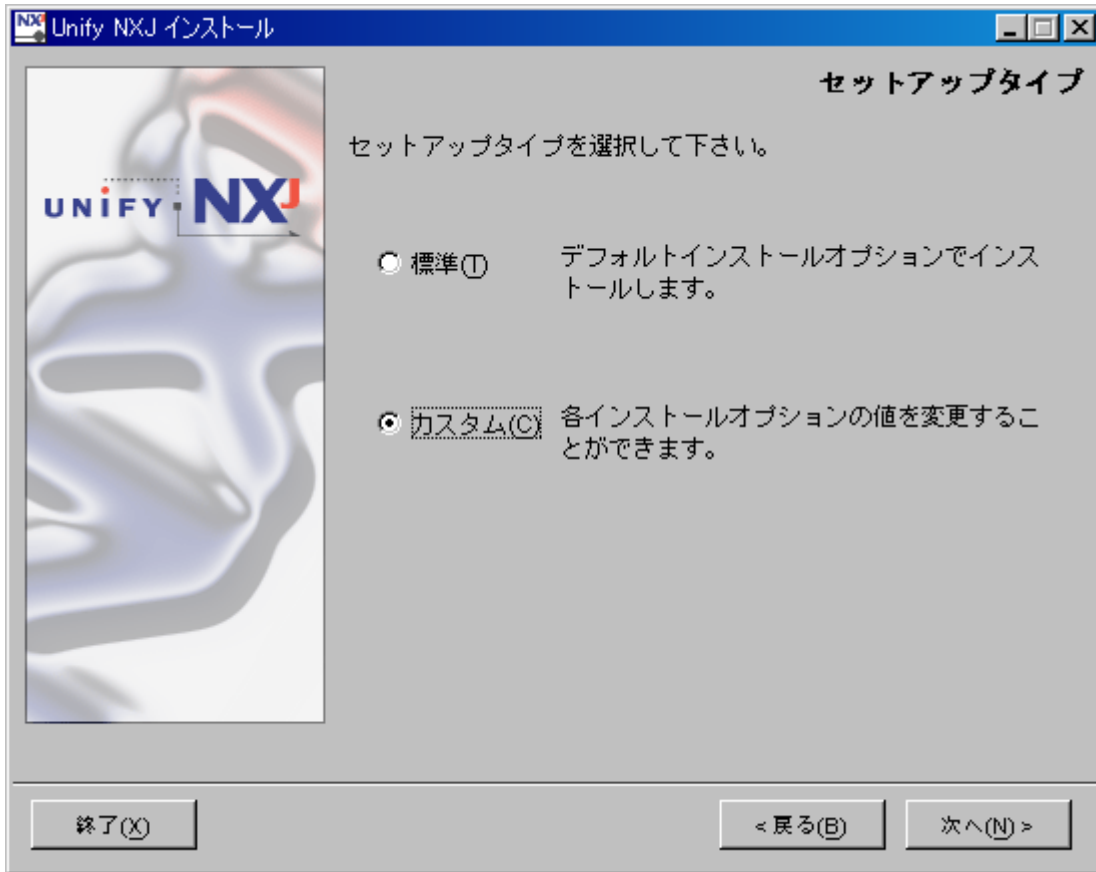


インストールが終了すると、この画面となります。

[閉じる(C)] ボタンをクリックし、インストールを完了してください。

以上で標準セットアップでのインストール作業は終了です。

2. [カスタム]セットアップのインストールステップ



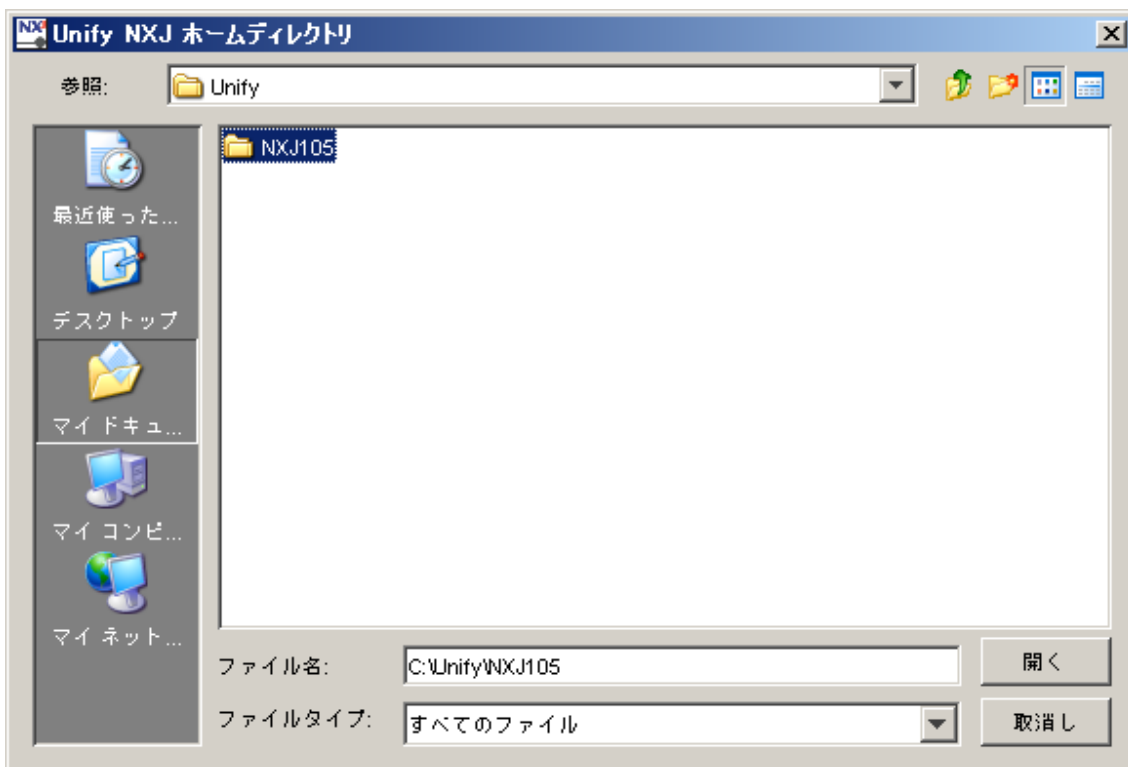
各インストールオプションの値を変更してインストールを行いたい場合は、カスタムのセットアップのタイプでインストールを行います。 [カスタム]をチェックして[次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。



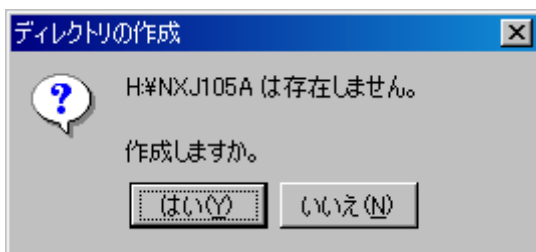
Unify NXJ のインストール先のフォルダを指定します。

デフォルトのインストール先のままでよければ、 [次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

デフォルトのインストール先以外にインストールしたい場合は、フォルダを直接入力するか、 [参照(R)] ボタンをクリックすると、インストール先を指定するダイアログが表示されますので、そこでインストール先のフォルダを指定してください。



インストール先である NXJ ホームディレクトリを指定または、作成してください。



指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラにより作成されます。
[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。



Unify NXJ の作業ディレクトリを指定します。

デフォルトの作業ディレクトリのままでよければ、 [次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

デフォルトの作業ディレクトリ以外を指定したい場合は、フォルダを直接入力するか、 [参照(R)] ボタンをクリックすると、Unify NXJ ホームディレクトリパネルと同じ様な作業ディレクトリを指定するダイアログが表示されますので、そこで指定してください。



[Standard Edition ライセンス以外の場合]

Standard Edition 以外のライセンスの場合、使用する Java アプリケーションサーバを指定します。

選択可能な Java アプリケーションサーバは、

JBoss Application Server

Oracle Application Server

BEA WebLogic

IBM WebSphere

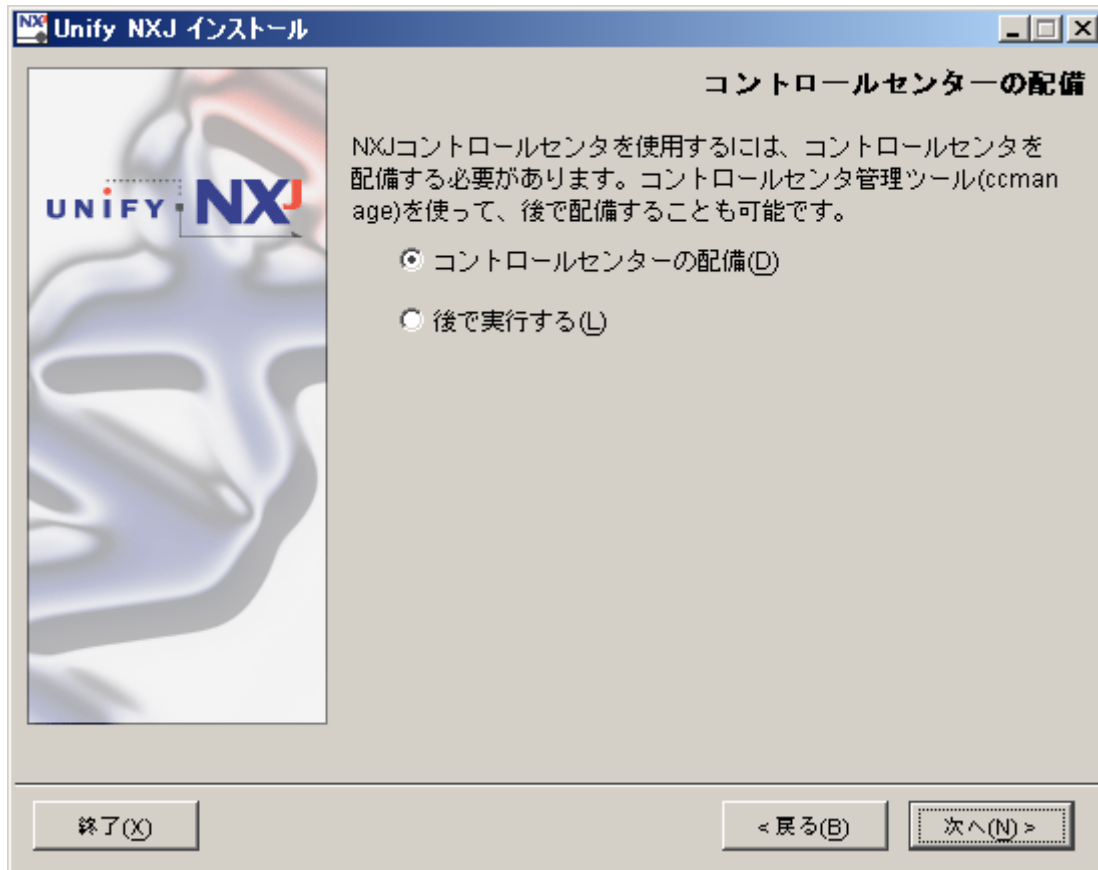
の4種類です。

使用するアプリケーションサーバをチェックして、[次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。

本書では、JBoss アプリケーションサーバを選択した場合の説明になっています。

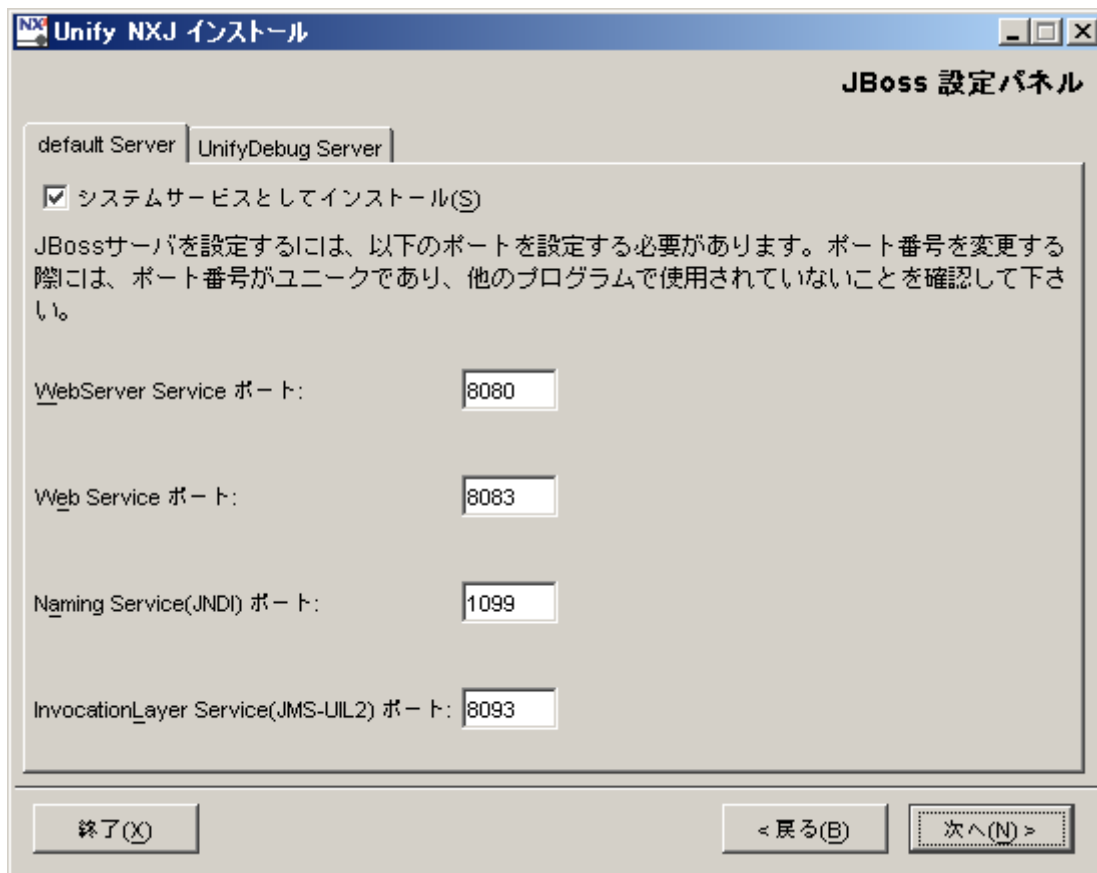
[Standard Edition ライセンスの場合]

Standard Edition ライセンスでは、JBoss アプリケーションサーバが自動的にインストールされますので、この[Java アプリケーションサーバ]を選択する画面は表示されません。



Unify NXJ をインストール時にコントロールセンタを配備するかを選択することが出来ます。

通常コントロールセンタを配備しますので、 [次へ(N)>] ボタンをクリックしてください。



JBoss の default サーバの設定パネルと UnifyDebug サーバの設定パネルです。

JBoss の default サーバと UnifyDebug サーバのデフォルトが設定されていますので使用するポート番号が他のアプリケーションで使用されているポート番号と競合していないか確認し、 [次へ(N)>] ボタンをクリックして下さい。

デフォルトでは JBoss の default サーバ、UnifyDebug サーバは“ Unify NXJ Development Server ”、“ Unify NXJ Debug Server ” という名前のシステムサービスとして Windows サービスにインストールされます。

Windows サービスに登録したくない場合は、システムサービスとしてインストールチェックボックスをオフにします。



コントロールセンタ名を指定します。

デフォルトのコントロールセンタ名が指定されていますので、 [次へ(N)>] ボタンをクリックして下さい。default サーバにコントロールセンタが配備されます。

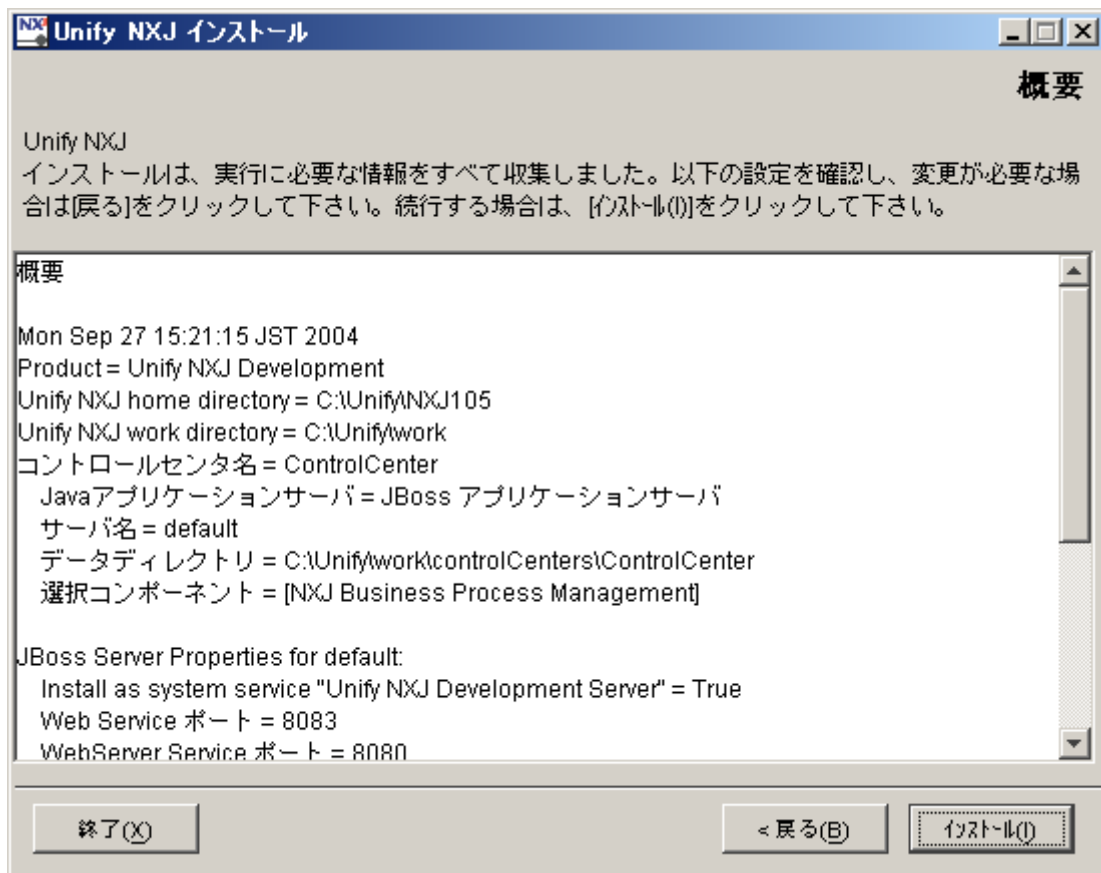


コントロールセンタに配備するコンポーネントを選択します。

このチェックボックスは、ライセンスで有効なコンポーネントを選択して配備することが出来ます。

ライセンスされてないコンポーネントを選択することはできません。

[次へ(N)>] ボタンをクリックして下さい。

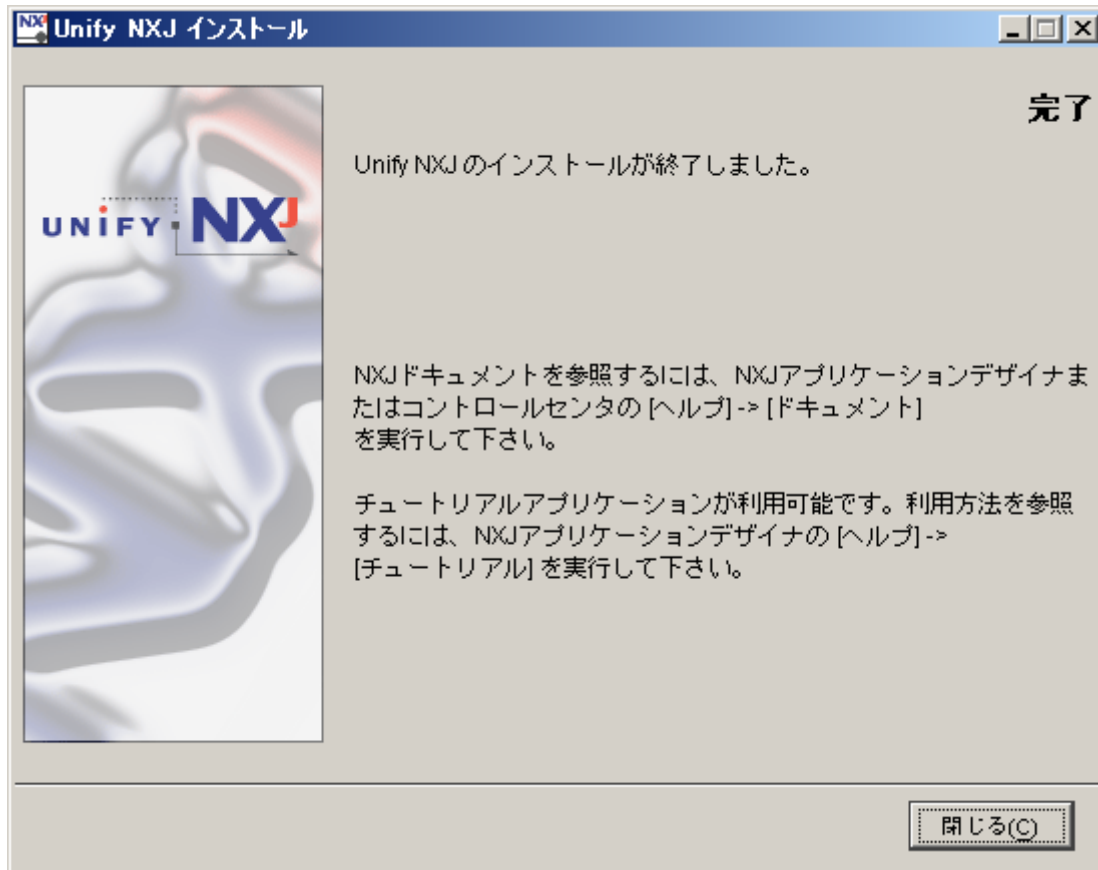


インストールのための情報が表示されますので、間違いがなければ [インストール(I)] ボタンをクリックしてください。

間違いがある場合は、 [< 戻る(B)] ボタンをクリックすると、一画面ずつ戻りますので、必要な箇所で情報を訂正してください。



インストールが実行されます。



インストールが終了したら、この画面となります。

[閉じる(C)] ボタンをクリックし、インストールを終了してください。

以上でカスタムセットアップでのインストール作業は終了です。

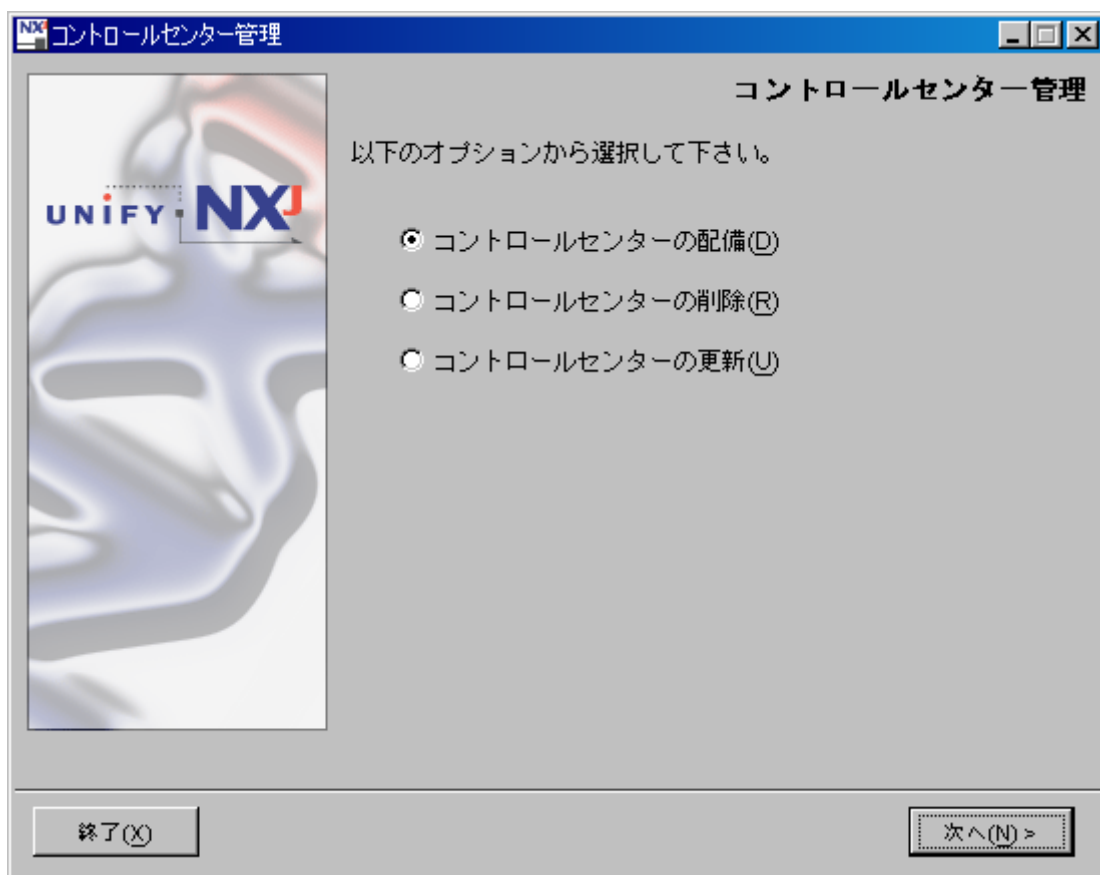
3. インストール後のコントロールセンタの配備

NXJ をインストール時に、コントロールセンタ配備を選択していない場合、ccmanage ユーティリティを使ってコントロールセンタをアプリケーションサーバに配備することが出来ます。

[コントロールセンタの配備]

NXJ をインストールしたフォルダへ移動し、ccmanage.exe を実行します。

実行すると、以下のパネルが表示されます。



コントロールセンタを配備する場合は、コントロールセンターの配備にチェックします。
[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



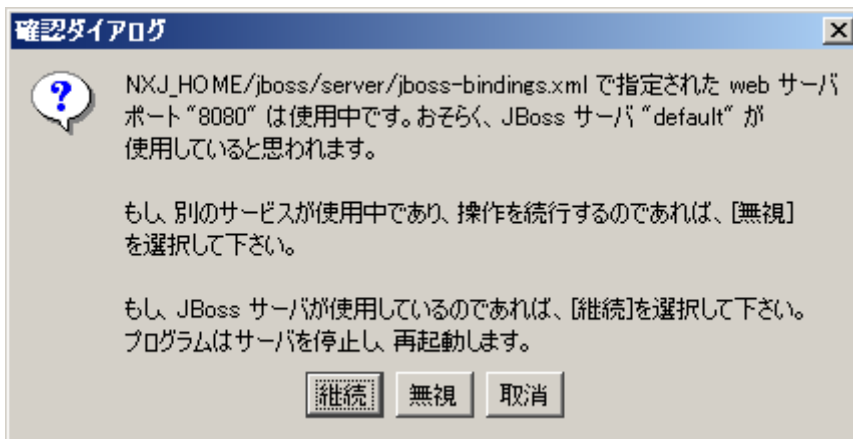
使用しているアプリケーションサーバにチェックをします。
ここでは、JBoss アプリケーションサーバを選択しています。
[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



配備するコントロールセンタの名前を入力します。

内容を確認して、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

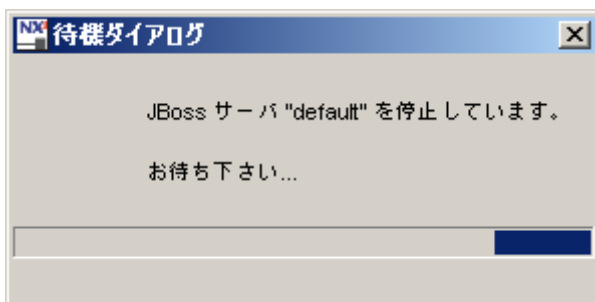
この時、JBoss アプリケーションサーバが起動されている場合、ダイアログが表示されます。



このダイアログが表示された場合、JBoss アプリケーションサーバをポート 8080 で実行されている場合は、[継続]ボタンをクリックします。

他のアプリケーションが使用している場合で配備を続行するときは、[無視]ボタンをクリックします。

[継続]ボタンをクリックすると、JBoss アプリケーションサーバを停止している待機ダイアログが表示されます。



正常に JBoss アプリケーションサーバが停止すると、次のパネルが表示されます。

ここで待機ダイアログが消えないような場合は、手動で JBoss アプリケーションサーバを停止します。

Windows サービスから JBoss アプリケーションサーバを実行している場合は、サービスパネルから “Unify NXJ Development Server” を探し、停止します。

コマンド プロンプトを使って JBoss アプリケーションサーバを実行している場合は、そのコマンドプロンプトから JBoss アプリケーションサーバを停止します。



コントロールセンタに配備するコンポーネントを選択します。

このチェックボックスは、ライセンスで有効なコンポーネントを選択して配備することが出来ます。

ライセンスされていないコンポーネントを選択することはできません。

[次へ(N)>] ボタンをクリックしてコントロールセンタを配備します。



コントロールセンタの配備が完了すると上記のパネルが表示されます。

JBoss アプリケーションサーバをコントロールセンタ管理ツール実行中に停止した場合、JBoss アプリケーションサーバの再起動を行っています。

サービスから JBoss アプリケーションサーバを起動している場合は、Windows のサービスパネルで、“Unify NXJ Development Server” の状態が、“開始” になっていることを確認します。

コマンドプロンプトから JBoss を起動している場合は、新しいコマンドプロンプトに JBoss アプリケーションサーバが起動されます。

コントロールセンタの配備が成功したかを確認するためには、アプリケーションサーバの実行を確認後、<http://localhost:8080/ContrilCenter> をクリックするか、WebブラウザにこのURLを入力してコントロールセンタ管理ツールが実行されることを確認します。

JBoss アプリケーションサーバの起動中には、コントロールセンタ管理ツールは、実行することは出来ません。

JBoss アプリケーションサーバの起動には、数分かかる場合がありますので時間を置いて上記のリンクをクリックしてください。

[閉じる(c)] ボタンをクリックして、パネルを終了します。

以上でコントロールセンタのアプリケーションサーバへの配備を終了します。